

# 伝統文化の 源流に触れる

2024年12月8日(日)

開場：12:30から 開演：13:00から 終了予定：15:30 会場：国立文楽劇場小ホール

## <第1部> 法花院住職 石田 太一(唐招提寺 執事長)



僧名・太一房明智、昭和42年3月20日奈良県生れ。  
6歳で得度(戒師：唐招提寺第81世長老・森本孝順師)。  
平成2年3月、京都教育大学卒業。平成7年から唐招提寺に勤務。  
平成9年から唐招提寺塔頭・法花院住職。平成21年の金堂落慶法要では会奉行。  
令和3年4月、唐招提寺執事長を拝命する。歴史や仏教の他、茶道や書道を勉強中である。

1967年 奈良市生まれ、西方院で育つ。  
1973年 得度入衆  
1990年 京都教育大学・教育学部数学科卒業  
1995年 唐招提寺奉職  
1997年 唐招提寺塔頭・法花院住職を拝命  
2004年 母で六松庵主の石田静病没、六松庵の活動を引き継ぐ。  
2005年 東博で静追悼茶会を、赤膚焼武田高明氏、奈良博参与中島史子氏の協力を得て開催。  
2009年 唐招提寺金堂落慶法要では会奉行や司会を務める  
2021年 4月から唐招提寺執事長  
2021年 4月から秋篠川桜の会会長

## <第2部> 文太郎 シャンソンヴォーカル



シャンソン(フランス語で“歌”の意)

「自由・平等・博愛」フランス革命で、世界で初めてこれを勝ち取ったフランス市民。  
シャンソンには、そんな彼らの誇り高さ人生讃歌が溢れています。  
出会い、別れ、喜び、絶望、老い、そして死まで・・・人の生きる営みを、  
正面から高らかに歌うシャンソン。  
またそれは、戦後の日本で“訳詞”という技によって世界に類を見ない発展を遂げました。  
3分間のドラマ、3幕のドラマ、シャンソンの世界の片鱗をお伝えできれば幸いです

1995年堀内周氏に出会いシャンソンを師事。1998年より歌手活動を始める。  
その後古谷充氏にジャズヴォーカルを、太田みどり氏・立花敏弘氏に声楽を師事。  
2007年以降は東京、京都、郷里である新潟の他、全国各地でコンサートを開催。  
日本最大豪華客船「飛鳥II」の日本海クルーズや、「ぱしふいっくびいなす」アジアクルーズなど、  
豪華客船でのステージも多い。日本テレビ系列「夕方ワイド新潟一番!」に2009年より10年間出演。  
CDアルバム7種。シャンソン・カンツォーネにとどまらぬ幅広いプログラムに挑戦。  
活動25年を経て独自の世界観を構築する、本格派男性ヴォーカリストである。

### 現地案内図



◎会場：国立文楽劇場小ホール(大阪市中央区日本橋1-12-10)  
最寄駅：地下鉄堺筋・千日前線「日本橋」駅下車  
7番出口より徒歩1分

◎参加無料

事前にハガキ又はメールにて住所/氏名/電話番号をご記入の上、  
下記までお申込みください。満席の場合のみご連絡差し上げます。

◎主催/連絡先：一般社団法人老人文化会議(大阪市西区江之子島1-7-3)

TEL：080-5340-3812(京都事務局)

E-mail: info@eldernets.or.jp

お送りいただいた個人情報はこのイベント及び、当法人が今後開催するイベントの際のみ使用させていただきます